

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月25日			記入者	内線 641
部 名	環境事業部	課 名	橋本台収集事務所	課長名	大関昭雄
事務事業名	ごみ収集車両維持管理事業				
予算上の事務事業名	ごみ収集車両維持管理費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		21220		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります				
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築				事業開始年度
施 策 名	第2施策 廃棄物の適正処理の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
廃棄物の処理及び清掃に関する法律		廃棄物の処理及び清掃に関する条例		道路運送車両法	
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 維持・管理・補修 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
一般ごみの収集に使用する塵芥車等の安全で効率的な運行を確保する。 環境面においては、有害排出ガスの削減を図る。			橋本台収集事務所の収集区域内市民		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
・計画的、効率的な予算執行を行い環境面においては次の点を実施した。 低公害車(LPG車・CNG車)の積極的な導入・運行を行った。					
総事業費 33,020千円 需用費 30,107千円 役務費 1,446千円 公課費 1,468千円					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	32,380	34,430	33,020	38,542	39,000
一般財源	32,380	34,110	33,020	38,453	39,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	320	0	89	0
人件費の合計	8,390	8,010	8,070	8,070	8,070
事業コスト合計(a)	40,770	42,440	41,090	46,612	47,070
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	ごみ収集車両維持管理事業			対象名称(単位)	保有台数
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	40,770	42,440	41,090	46,612	47,070
対象数	34	32	32	32	32
単位あたり経費(円)	1,199,118	1,326,250	1,284,063	1,456,625	1,470,938
前年度比		1.11	0.97	1.13	1.01

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	保有台数(台)	指標式と指標の説明		保有台数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	34.0	32.0	32.0		
目標	34.0	32.0	32.0	32.0	32.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	維持管理原価(円)	指標式と指標の説明		維持管理費/収集量(t) 1t収集するために必要な車両維持管理費	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	549.0	564.0	570.0		
目標				648.0	645.0
目標達成度					
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		本事業は一般ごみ収集に欠かせない事業であり、今後も継続して安全で効率的な業務を推進する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 始業時前車両点検の適正かつ徹底実施 ・ 経済性を高める車両運行の実施 ・ 低公害車のさらなる導入 			排出ごみの質の変化に伴い、より一層の資源分別回収によるごみの減量化と収集車両の適正配置が課題である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			